

第2期 豊橋市

子ども・子育て応援プラン

令和2年度～令和6年度



概要版

豊橋市子ども・子育て支援事業計画
豊橋市次世代育成支援行動計画
豊橋市子どもの貧困対策推進計画

豊橋市

1 計画の趣旨・背景

この計画は、胎児期から乳幼児期、学童期、思春期を含む18歳までのすべての子ども自身の育ちとその保護者(子育て家庭)を支援するとともに、社会のあらゆる構成員が一体となって子ども・子育て支援を推進するため、基本的な考え方、施策の方向及び具体的な取組みを明らかにするものです。

本市では、平成27年度から5年を1期とする「子ども・子育て応援プラン」を策定し、子ども・子育て支援施策に取り組んできましたが、少子化の原因の一つとされる子育てに関する不安や負担感、仕事と子育ての両立に係る困難などは、依然として大きな課題となっています。そこで、すべての子どもや子育て家庭を対象とし、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指し「第2期子ども・子育て応援プラン」を策定します。



2 計画の位置づけ・期間

この計画は、第1期子ども・子育て応援プランに引き続き、①子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画、②次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画に加え、③子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策の市町村計画として、一体的に策定し、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間とします。

	第1期 子ども・子育て応援プラン					第2期 子ども・子育て応援プラン				
	平成27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①子ども・子育て支援事業計画	策定	→				改定	→			
②次世代育成支援行動計画	策定	→				改定	→			
③子どもの貧困対策推進計画						策定	→			

3 計画の全体像

基本理念 豊かな愛情で未来への架け橋を育むまち とよはし

※下線は、豊橋市子どもの貧困対策推進計画に関連します。

u003c/div>

子ども自身への働きかけ

基本目標1 すべての子どもの育ちを支える環境づくり

幼児期の教育・保育や地域における子育て支援を推進するとともに、子どもの人権を尊重した環境づくりを進め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指します。

- 1 すべての子どもが幼児期に教育・保育を受けられる環境づくり
- 2 地域における子ども・子育て支援の充実
- 3 子どもの人権を尊重した環境づくり
- 4 児童虐待防止に向けた環境づくり New
- 5 子どもの貧困への支援の充実 New

基本目標2 子どもの豊かな人間形成を支える環境づくり

すべての子どもが、家庭で愛情深く育てられ、地域の人々に支えられながら様々な経験を通して自信をつけ成長することができる環境を整え、一人ひとりの子どもの心豊かな育ちを等しく保障することを目指します。

- 1 家庭・地域における子どもの人間形成
- 2 学校を通した子どもの人間形成
- 3 子どもの主体的な活動の尊重
- 4 次代の親としての子どもの人間形成

家庭への働きかけ

基本目標3 子育て家庭を支える環境づくり

地域や社会が保護者に寄り添い、保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげるとともに、社会的支援を必要とする家庭への支援を充実し、健康で安心して子育てできる地域社会の実現を目指します。

- 1 安心して子育てできる環境づくり
- 2 社会的支援を必要としている家庭への対策の充実
- 3 健康で子育てできる支援の充実

社会への働きかけ

基本目標4 子育てを社会全体で担う意識と環境づくり

出産・子育てと仕事の両立が実現できる環境づくりなど、社会のすべての構成員が子育てを支え応援する意識を持ち、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる地域社会の実現を目指します。

- 1 子育てを支え応援する社会づくり
- 2 仕事と家庭の両立ができる環境づくり

計画の推進にあたっての基本的な考え方

子どもの権利条約の4つの柱「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」をふまえ、子どもの最善の利益を念頭に「切れ目のない育ちの支援」

豊橋市子ども・子育て応援プラン

概要版

2

3

子育て応援のまち、とよはし



子育て世帯の約7割が、豊橋市は子育てするうえで住みよいと回答しています。
(豊橋市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」平成30年)

子育てを経済的に応援します!



- **不妊治療費の補助**
不妊治療の費用の一部を補助しています。とくに、特定不妊治療費については、所得制限を撤廃し、補助額を増額し、拡充しています。
- **医療費が無料**
子どもの通院医療費の自己負担分が、中学卒業まで無料。入院の医療費は、高校卒業まで無料です。
- **予防接種の費用助成**
1歳から中学3年生までと高校3年生を対象に、インフルエンザの予防接種費用の一部を助成しています。また、公費負担で実施する定期予防接種のほか、任意予防接種の、おたふくかぜ、MR(麻しん・風しん混合)ワクチン接種費用の一部を助成しています。
- **家計にやさしい保育料等**
国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、市独自で保育料等を軽減しています。

教育・保育環境が充実しています!



- **園の待機児童はゼロ**
保育コンシェルジュが、入園に至るまで継続的な支援を行い、年度当初の待機児童数は、毎年ゼロとなっています。
- **安心できる保育環境**
園の保育士の人数は、国よりも手厚い基準にしています。例えば、1歳児は保育士1人に対して子どもは4.6人(国の基準は6人)、2歳児は子ども5.2人(国基準6人)としています。
- **児童が放課後に安心して過ごせる環境**
利用ニーズに応じて、新たな放課後児童クラブを開設するほか、夏休み期間限定の児童クラブを実施しています。また、地域の多彩な人材による体験活動を行うトヨキースクール等も実施しています。
- **個性を伸ばす教育**
世界で活躍できる力を持った子どもを育てるため、算数・理科・体育・図画工作などの授業を英語を用いて行う「イマージョン教育」コースを開設します。英語のコミュニケーション力を長所とし、グローバル社会で活躍できる子どもを育てる事をねらいとして取り組んでいます。公立小学校では全国初となる取組みで注目されています。

子育て支援情報ポータルサイト「育ナビ」

ikunavi
育ナビ

豊橋で子育てするうえで役立つ最新情報を集約したポータルサイトです。市民活動団体やボランティアレポーターによる情報も掲載し、忙しいパパやママもスマホで簡単にチェックできます。



相談支援が充実して安心!



- **妊娠から子育て、青年期まで充実の相談支援体制**
妊娠期から、出産、子育て期に至るまで、親子が安心して過ごせるよう、健診等の健康管理や相談対応を充実させています。また、不妊・不育や、子どもの発達、子育て、虐待、不登校、若者等の相談窓口を設けています。
- **宿泊・日帰り・訪問型の産後ケア**
出産後のお母さんと赤ちゃんが安心して生活をスタートできるように、産科医療機関・助産院・自宅で、お母さんの心身のケアや、授乳指導、育児相談などを行い、利用にかかる費用の一部を助成しています。
- **身近なお出かけ交流スポット**
乳幼児連れの親子が気軽に立ち寄って、遊んだり、友達をつくったり、子育ての相談をしたりできる子育てサポートの場が市内に49か所あります(こども未来館子育てプラザ、地域子育て支援センター、つどいの広場、ここにごサークル)。

子どもの未来を応援します!

子どもの将来が生まれ育つ環境に左右されることがないように、市民活動団体や関係機関と連携し、学習支援や生活支援に取り組んでいます。



- **フードバンク**
寄付された食品を必要な家庭や施設等に配布するフードバンク事業を支援しています。
- **子どもの居場所づくり**
子ども食堂や学習支援教室など、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組む団体を支援しています。
- **ひとり親・生活困窮世帯の子ども向けの居場所づくり、学習支援**
小学4年生から高校生までを対象に、無料の学習教室を開催し、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを実施しています。
- **学生服等のリユース**
中学校の制服や体操服等の寄付を受け、必要な家庭にお渡ししています。
- **未来応援奨学金**
優れた得意分野を持ち、夢の実現に向けて頑張る学生を後押しするため、大学等の在学中に奨学金を給付しています。

5 子ども・子育て支援環境の整備

この計画では、子ども・子育て支援環境の整備を着実に進めるため、教育・保育事業や地域の子ども・子育て支援事業について、これまでの実績やニーズ調査を踏まえ、今後5年間に必要とされる利用量を予測し(量の見込み)、年度ごとにすべての利用ニーズを受け入れられるよう数値目標を設定しています(確保方策)。

1. 教育・保育事業の量の見込み・確保方策

●3歳以上で教育を希望(1号認定) / 幼稚園、認定こども園を利用

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み(人)	4,080	3,960	3,790	3,650	3,550
②確保方策(人)	6,070	5,907	5,907	5,907	5,907
過不足(②-①)	1,990	1,947	2,117	2,257	2,357

●3歳以上で保育が必要(2号認定) / 保育園、認定こども園を利用

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①量の見込み(人)	5,630	5,560	5,310	5,110	4,970
②確保方策(人)	6,011	6,047	6,047	6,047	6,047
過不足(②-①)	381	487	737	937	1,077

●0歳から2歳で保育が必要(3号認定) / 主に保育園、認定こども園を利用

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0歳	①量の見込み(人)	730	730	730	730	730
	②確保方策(人)	737	743	743	743	743
	過不足(②-①)	7	13	13	13	13
	①量の見込み(人)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
1・2歳	②確保方策(人)	3,020	3,047	3,047	3,047	3,047
	過不足(②-①)	20	47	47	47	47



2. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み・確保方策

事業名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
延長保育事業	量の見込み(人)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	確保方策(人)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
放課後児童クラブ	量の見込み(人)	3,900	4,000	4,030	3,980	3,870	
	確保方策(人)	3,930	4,030	4,090	4,090	4,090	
子育て支援ショートステイ事業	量の見込み(人)	100	100	100	100	100	
	確保方策(人)	100	100	100	100	100	
子育て支援トワイライトステイ事業	量の見込み(人)	100	100	100	100	100	
	確保方策(人)	100	100	100	100	100	
地域子育て支援拠点事業	こども未来館 子育てプラザ	量の見込み(人)	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		確保方策(人)	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
	その他の事業	量の見込み(人)	40,000	39,500	39,800	39,300	38,800
		確保方策(人)	40,000	39,500	39,800	39,300	38,800
一時預かり	幼稚園の 在園児等対象	量の見込み(人)	73,080	73,080	73,080	73,080	73,080
		確保方策(人)	73,080	73,080	73,080	73,080	73,080
	保育園等における 未就園児対象	量の見込み(人)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		確保方策(人)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

事業名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
病児保育事業	量の見込み(人)	600	600	600	600	600		
	確保方策(人)	600	600	600	600	600		
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み(人)	6,200	6,000	6,000	5,800	5,800		
	確保方策(人)	6,200	6,000	6,000	5,800	5,800		
妊産婦健康診査	量の見込み	妊婦健診	対象者数(人)	2,900	2,850	2,800	2,750	2,700
			延受診者数(人)	35,000	34,500	34,000	33,500	33,000
		産婦健診	対象者数(人)	2,900	2,850	2,800	2,750	2,700
			延受診者数(人)	5,800	5,700	5,600	5,500	5,400
	確保方策	実施場所(か所)	病院1、診療所14、助産所1					
		検査項目	妊婦健診:基本的な妊婦健康診査の項目(健康状態の把握等)及び各種医学的検査(血液検査等) 産婦健診:基本的な産婦健康診査の項目(健康状態の把握等)及びメンタルチェック					
実施時期	・妊娠初～妊娠23週 4週間に1回 ・妊娠24～35週 2週間に1回 ・妊娠36週～分娩 1週間に1回 ・産後2週間及び4週間ごとに各1回							
乳児家庭全戸訪問事業	量の見込み	対象者数(人)	2,900	2,850	2,800	2,750	2,700	
		訪問実施数(人)	2,900	2,850	2,800	2,750	2,700	
	確保方策	実施体制	訪問実施数上段:看護師・助産師等 訪問実施数下段:民生委員児童委員、主任児童委員					
		実施機関	訪問実施数上段:保健所 訪問実施数下段:民生委員児童委員、主任児童委員					
養育支援訪問事業	量の見込み	対象世帯数(人)	250	250	250	250	250	
		延支援回数(回)	40	40	40	40	40	
	確保方策	実施体制	専門的相談支援:保健師1人、助産師1人 育児・家事援助:保育士2人					
		実施機関	専門的相談支援:保健所 育児・家事援助:こども若者総合相談支援センター					
利用者支援事業	量の見込み	利用者数	実施体制(か所)	3	3	3	3	3
			相談	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
		ママサポートプラン	3,000	2,900	2,900	2,800	2,800	
	チャイルドサポートプラン	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
確保方策	実施体制(か所)	3	3	3	3	3		
子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業	量の見込み	要保護児童対策ネットワーク協議会(回)	1	1	1	1	1	
		要保護児童対策ネットワーク協議会連絡調整会議(回)	36	36	36	36	36	
	確保方策	調整機関	こども若者総合相談支援センター					
	実費徴収に係る補足給付事業	量の見込み	延対象児童数(人)	6,360	6,360	6,360	6,360	6,360
確保方策		実施内容	対象児童の実費徴収額について補足給付を実施					
多様な事業者の参入促進・能力活用事業(認定こども園特別支援教育・保育経費)	量の見込み	実施体制(か所)	4	4	4	4	4	
		延対象児童数(人)	40	40	40	40	40	
	確保方策	実施内容	子ども一人ひとりの状態に応じた適切な教育・保育の機会の提供の拡大を図るため、職員の加配に必要な費用の補助を実施。					
		実施体制(か所)	4	4	4	4	4	

6

ライフステージに応じた子ども・子育て支援

0歳

6歳

12歳

15歳

結婚前 → 妊娠前 → 妊娠期 → 乳幼児期 → 小学生 → 中学生 → 高校生等

保健・相談等	女性の健康支援	新生児聴覚検査補助					
	不妊・不育専門相談センター	産後ケア					
	母子手帳の交付	乳幼児健康診査					
	妊娠・出産・子育て総合相談窓口						
	妊産婦健康診査						
		妊産婦・乳幼児家庭訪問、相談等					
	産前・産後サポート			教育相談			
		養育支援訪問		子ども・若者総合相談			
				予防接種			
		乳児家庭全戸訪問					
交流・体験・講座等		子育て支援センター、ここにごサークル、つどいの広場など		文化芸術体験推進事業			
		初めての絵本の出会い事業	おはなしのへや	わくわく WORK in とよはし			
		幼児ふれあい教室など		赤ちゃんふれあい体験			
				ほの国こどもパスポート			
				こども未来館・交通児童館			
				家庭教育セミナー			
	地域の子育て支援等		保育園・認定こども園		トヨキースクールなど		
			幼稚園		放課後児童クラブ		
			一時預かり(保育園等)		放課後子ども教室		
			一時預かり(幼稚園)				
		保育コンシェルジュ					
		延長保育・休日保育		イマージョン教育			
		病児保育					
		ファミリー・サポート・センター					
			子育て支援ショートステイ・子育て支援トワイライトステイ				
			特別支援保育	小・中学校における特別支援教育			
子どもの貧困への支援	New	不妊治療費補助	未熟児養育医療給付	就学援助	未来応援奨学金		
				児童クラブ利用料の軽減	私立高等学校・私立専修学校高等課程等授業料補助		
				給食費(副食費)の負担軽減			
				児童手当			
				子ども医療費の助成			
				小児慢性特定疾病医療給付			
				障害児自立支援医療(育成医療)給付			
				児童扶養手当・母子父子福祉手当・障害児福祉手当・特別児童扶養手当			
				学習・生活支援			
				学生服等のリユース	資格取得支援		
その他	結婚支援						
				青少年健全育成			
			赤ちゃんの駅	人権啓発活動、交通安全教室			
			家庭訪問型子育て支援				
				子どもの権利擁護、女性の再就職支援			
				子育て家庭優待事業(はぐみんカード)			
				とよはし子育て応援宣言の推進、子育て応援企業の認定・表彰、児童虐待防止に関する啓発、とよはし子育て応援フェスの開催、ワーク・ライフ・バランスの推進			

